

新庁舎完成によせて



この度、蕨市の新たなシンボルとなる新庁舎が完成しました。これもひとえに、市民の皆様をはじめ、関係各位のご理解、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

新庁舎は、「～歴史・文化を活かし『未来の蕨』を創造～人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全でコンパクトな庁舎」の基本理念に基づき、

免震構造による極めて高い安全性を備え、新たに非常用発電機設備や太陽光パネル、防災情報システムなどを導入するとともに、住民票などの自動交付機や窓口の利便性の向上、プライバシーに配慮した多くの相談室を設けたほか、市民の皆さんが多目的に使える会議室やカフェも整備しました。また、建物中央に自然通風による換気と採光を行うエコポイドを設け、外壁を囲むルーバーは遮熱効果を備え、環境負荷の低減につながるとともに、中仙道蕨宿や双子織をイメージしたデザインを採用し、市民サービスや災害対応の新たな拠点にふさわしい建物となっています。

新庁舎の完成を契機として、将来にわたり、市民の皆様に親しまれ、未来に向け大きく飛躍する、そんな蕨のまちづくりを進めていく決意を新たにしています。

令和5年9月

蕨市長 頼高 英雄

5つの基本方針をもとに、市民サービスと災害対応の拠点となる庁舎が完成しました。



新庁舎の特徴



「蕨らしさ」を織り込んだ外観

蕨の伝統的な織物「双子織」の特徴的な色彩を織り込んだルーバーは、遮熱効果を備え、近接する中山道の街並みとも調和しています。



市民がくつろげる「カフェスペース」

玄関庭に面した場所に、カフェスペースをオープンします。市社会福祉協議会の運営により淹れたてのコーヒーなどを楽しむことができます。



市民の集まる「庭」

県道に面した市民交流の広場「玄関庭」、わらびりんごの木などの植栽やベンチを並べた憩いの広場「とお庭」を整備しました。

「防災拠点」としての機能確保

免震構造を採用することで建物の揺れを大幅に軽減し、災害時にも庁舎の機能を維持することで業務を継続して行うことができます。



■ エントランス（1階）

市民の利用が特に多い課を配置し、出入口からわかりやすい位置に総合案内やエレベーターがあり、視認性の良い空間となっています。



■ 多目的会議室（1階）

エントランスと一体化した待合いとしての利用のほか、講演会や公共的なイベントなどに利用できます。



■ 執務スペース

職員間の連携に配慮した配置とし、近接して会議室や書庫・倉庫等を設け、働きやすい執務環境としました。



■ 大会議室（4階）

移動間仕切り壁により2室に分けて利用もできる会議室です。マルチディスプレイ等を整備し、災害時は災害対策室として利用します。



■ 議場（5階）

バリアフリーに配慮し、スロープを設置しました。車椅子席や記者席のほか、補聴支援設備を備えています。



■ 非常用発電機設備（72時間程度）

災害等が発生し停電が起きた場合にも庁舎機能を維持するため、水害の影響のない屋上に設置しています。



■ 自然採光と通風

建物中央に吹抜空間「エコポイド」を設け、自然採光を取り入れるとともに、自然通風を利用した換気を行います。



■ 太陽光パネル

屋上スペースを有効活用し、太陽光を電気に変換する太陽光パネルを設置しています。